

令和 **2** 年度

まちづくりに関する
役職者アンケート

報告書

第5次最上町総合計画策定調査事業

令和 2 年 9 月

最上町

目 次

◆調査の概要	1p
◆調査の方法	2p
◆施策に関する満足度と重要度について	3p
1. 最上町の取り組みに対する満足度と重要度について	3p
A 人にやさしいまちづくり	3p
B 食にやさしいまちづくり	7p
C 環境にやさしいまちづくり	9p
D 持続から発展のまちづくり	11p
●評価区分	13p
総括	14p
●満足度と重要度のランキング	14p
●グラフおよび総括	16p
●評価区分	19p
◆今後について	20p
2. 町として重点的に取組むべき施策課題	20p
3. その他の意見、自由記述欄	21p

◆ 調査の概要

I. 目的

町民アンケートによる意識調査を補完することを目的とする。

II. 対象者

① 調査対象

・母集団・ ・農業委員、監査委員、固定資産評価委員、選挙管理委員
選挙管理委員補助員、消防委員、行政区長、公民館長、民生児童委員
保険衛生連絡員、環境保全員

・標本数・ ・187人

② 調査方法

・留置き法

③ 調査日程

・配布日・ ・2020年 7月 13日

・締切日・ ・2020年 7月 29日

III. 回収数

標本数	回収数	回収率
187	127	67.9%

IV. 調査項目

- ① 施策に関する満足度と重要度について
- ② 町として重点的に取り組むべき政策課題
- ③ その他の意見、自由記述

◆ 調査の方法

I. 集計・分析

単純集計を用いるものとする。

《満足度と重要度について》

- ・満足度の重み付けは、そう思う＝100、ややそう思う＝67、あまり思わない＝33、思わない・分からない＝0 とする。

【得点】 ＝ 重み付け後の1～5の総和 / 回答者総数（－不明・無回答者数）

- ・満足度と影響度の相関関係を指標化し、改善すべき点を明確にする。

II. 留意事項

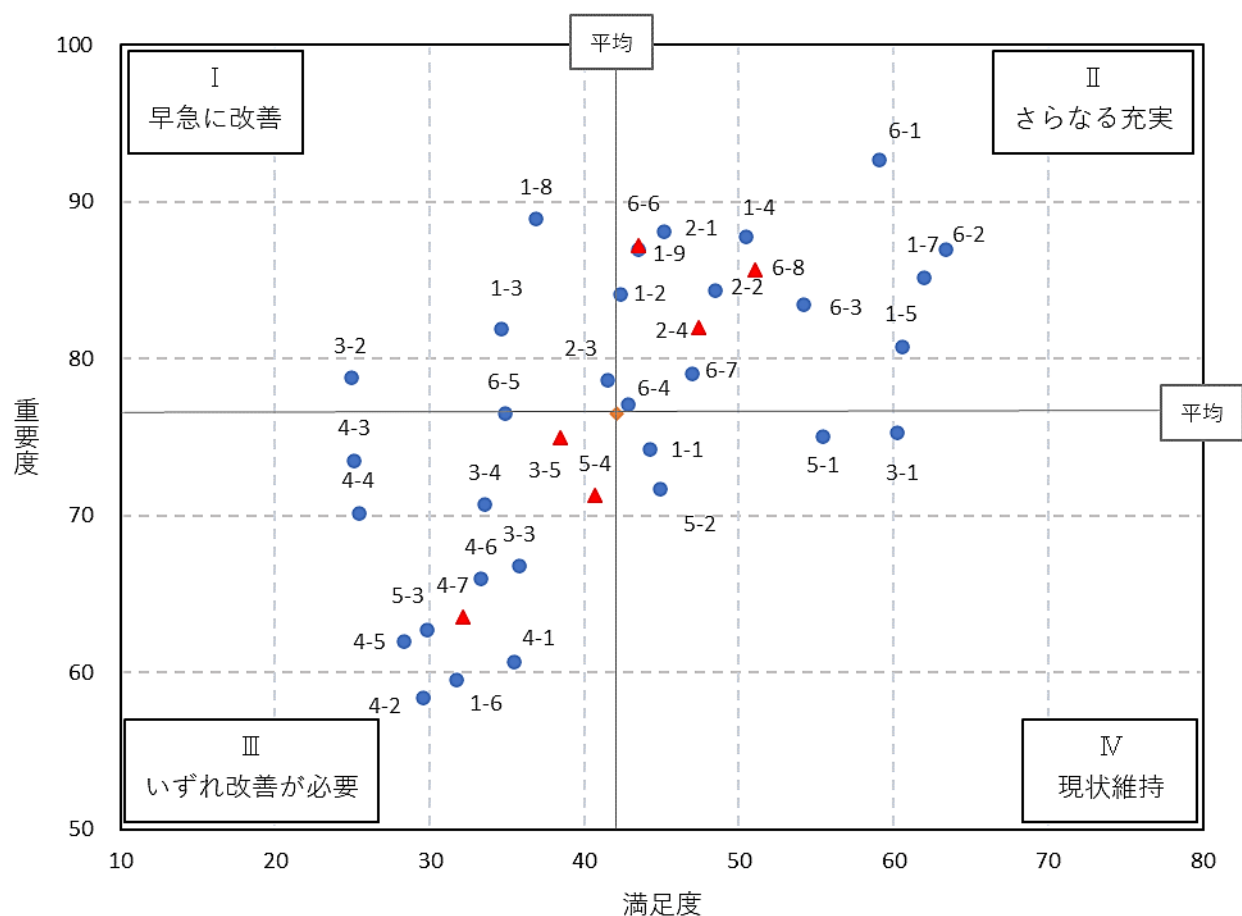
- 回答結果に関して、構成比は小数点以下第2位を四捨五入、重み付け後の得点は小数点以下第4位を四捨五入し算出。
- グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略であり、各設問に該当する回答者総数を表す。複数回答の設問の場合は、「N」に対する各選択肢の回答者数を示す。

◆ 施策に関する満足度と重要度について

1. 最上町の取り組みに対する満足度と重要度について

A 人にやさしいまちづくり

人にやさしいまちづくり			満足度							重要度						
			そう 思う	やや そう 思う	あまり 思わ ない	思 わ な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点	重 要 で あ る	やや 重 要 で あ る	あまり 重 要 で な い	重 要 で な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点
町民と行政との信頼関係	1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	4	49	52	8	9	5	44.254	53	48	5	1	10	10	74.197
	1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	5	47	46	19	5	5	42.352	76	34	4	0	5	8	84.118
	1-3	町民と町との話し合いの場	8	29	47	31	9	3	34.629	66	46	2	3	2	8	81.916
	1-4	良好な町の職員の対応	19	45	39	16	4	4	50.423	84	30	1	2	2	8	87.756
	1-5	広報もがみの充実度	25	62	24	7	5	4	60.537	62	48	6	0	3	8	80.790
	1-6	町ホームページの充実度	5	38	26	8	46	4	31.740	41	42	7	0	30	7	59.542
	1-7	防災無線による情報提供	29	63	17	13	2	3	61.952	82	30	3	1	5	6	85.198
	1-8	健全な町の財政運営	6	44	30	18	25	4	36.894	96	11	2	2	6	10	88.915
	1-9	町民と行政との全体的な信頼関係	6	54	32	21	8	6	43.587	81	29	2	1	3	11	87.147
子育て環境の充実	2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	11	44	47	10	12	3	45.153	88	26	1	0	5	7	88.125
	2-2	充実している子育て環境	12	59	26	7	20	3	48.476	82	26	3	0	8	8	84.378
	2-3	保育所・こども園と小学校との連携	14	44	23	2	40	4	41.520	67	37	3	0	11	9	78.627
	2-4	子育て環境の全体的な充実度	15	45	37	4	20	6	47.405	74	28	2	0	10	13	81.947
学校教育の充実	3-1	適切な小学校の再編（統廃合）	30	58	14	3	17	5	60.230	60	38	8	1	10	10	75.299
	3-2	子どもの学力の向上	2	26	34	18	43	4	24.911	78	22	3	0	16	8	78.765
	3-3	地域に開かれた学校経営	9	36	32	6	39	5	35.803	47	43	9	0	19	9	66.763
	3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	5	36	37	10	35	4	33.602	57	36	7	2	16	9	70.703
	3-5	学校教育の全体的な充実度	10	41	30	4	38	4	38.512	65	34	2	1	16	9	74.949
生涯学習・芸術文化の振興	4-1	充実した公民館の学級・講座	6	36	40	17	23	5	35.508	23	67	13	2	14	8	60.655
	4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	3	35	30	18	37	4	29.553	26	58	14	2	19	8	58.387
	4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	2	19	49	25	28	4	25.122	57	43	5	2	12	8	73.496
	4-4	活発な若者や女性の地域活動	2	24	40	33	24	4	25.431	43	58	5	2	11	8	70.176
	4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	1	30	41	31	19	5	28.385	23	67	14	5	8	10	61.974
	4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	3	37	39	20	23	5	33.328	33	63	8	4	10	9	65.975
	4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	3	29	52	16	23	4	32.187	31	64	7	2	16	7	63.492
健康づくり・生涯スポーツの推進	5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	17	61	38	7	4	0	55.441	55	55	6	2	7	2	75.064
	5-2	集落や地域での健康体力づくり	19	38	38	23	9	0	44.882	45	62	7	3	7	3	71.653
	5-3	活発なスポーツ活動	5	20	59	27	16	0	29.819	25	69	16	3	9	5	62.713
	5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	11	36	44	20	11	5	40.689	36	71	8	2	4	6	71.248
安全・安心の推進・まちづくり	6-1	安心して受けられる医療機関	32	48	31	13	2	1	59.040	100	19	1	0	2	5	92.672
	6-2	充実した介護サービス施設	30	66	19	10	2	0	63.378	84	35	1	0	4	3	86.919
	6-3	充実した健康や介護に関する相談体制	19	61	27	7	13	0	54.157	77	38	3	0	6	3	83.427
	6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動	7	43	55	14	7	1	42.825	57	54	5	1	6	4	77.098
	6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	6	31	53	29	8	0	34.850	56	55	6	1	6	3	76.476
	6-6	充実した地震や洪水等への防災対策	10	49	35	19	12	2	43.504	87	28	1	0	6	5	86.959
	6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり	6	61	36	12	10	2	47.000	64	46	5	0	7	5	79.074
	6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進	12	60	37	9	8	1	51.119	81	36	3	0	4	3	85.573



1-1 活発な集落や地域におけるまちづくり	2-1 子どもが健やかに育つための地域環境	3-1 適切な小学校の再編（統廃合）
1-2 良好な町民と町との信頼・協働関係	2-2 充実している子育て環境	3-2 子どもの学力の向上
1-3 町民と町との話し合いの場	2-3 保育所・こども園と小学校との連携	3-3 地域に開かれた学校経営
1-4 良好な町の職員の対応	2-4 子育て環境の全体的な充実度	3-4 まちに誇りと愛着をもつための教育
1-5 広報もがみの充実度		3-5 学校教育の全体的な充実度
1-6 町ホームページの充実度		
1-7 防災無線による情報提供		
1-8 健全な町の財政運営		
1-9 町民と行政との全体的な信頼関係		

4-1 充実した公民館の学級・講座	5-1 生涯現役生活を目指した健康づくり	6-1 安心して受けられる医療機関
4-2 中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	5-2 集落や地域での健康体力づくり	6-2 充実した介護サービス施設
4-3 まちづくりの担い手やリーダーの育成	5-3 活発なスポーツ活動	6-3 充実した健康や介護に関する相談体制
4-4 活発な若者や女性の地域活動	5-4 全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	6-4 充実した集落や高齢者への支え合い活動
4-5 充実した文化芸術に関する催しやイベント		6-5 充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）
4-6 良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承		6-6 充実した地震や洪水等への防災対策
4-7 全体的な生涯学習・芸能文化の振興		6-7 交通安全対策等の安全なまちづくり
		6-8 安全・安心なまちづくりの全体的な推進

1. 町民と行政との信頼関係について

満足度が最も高いのが「防災無線による情報提供」であり、次いで「広報もがみの充実度」であった。反対に最も低いのが「町ホームページの充実度」であった。重要度では、「健全な町の財政運営」が最も高く、次に「良好な町職員の対応」「防災無線による情報提供」の順で続いた。

満足度に関する 9 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 113 であり、全回答数の約 10%を占めている。

2. 子育て環境の充実について

満足度が最も高いのが「充実した子育て環境」であり、反対に最も低いのが「保育所・こども園と小学校との連携」であった。重要度では、「子どもが育つための地域環境」が最も高かった。

満足度に関する 4 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 92 であり、全回答数の約 18%を占めている。

3. 学校教育の充実について

満足度が最も高いのが「小学校の再編」であり、反対に「子どもの学力の向上」が“人にやさしいまちづくり”全体の中でも最も低い割合であった。重要度では、「子どもの学力の向上」が最も高く、次いで「小学校の再編」であった。

満足度に関する 5 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 172 であり、全回答数の 27%を占めている。

4. 生涯学習・芸術文化の振興について

満足度が最も高いのが「充実した公民館の学級・講座」であり、次いで「文化財や伝統文化の保存・伝承」であった。ただし、“人にやさしいまちづくり”の中では、この項目の満足度が、最も低い結果であった。また、「若者や女性の地域活動」「まちづくりの担い手やリーダーの育成」がほぼ同率で満足度が低い結果となっているが、これとは逆に、重要度では高い数値がみられた。

満足度に関する 7 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 177 であり、全回答数の約 20%を占めている。

5. 健康づくり・生涯スポーツの推進について

満足度が最も高いのが「生涯現役生活を目指した健康づくり」であり、重要度でも最も高い結果であった。反対に満足度が最も低かったのが「活発なスポーツ活動」であり、重要度についても同様であった。

満足度に関する 4 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 40 であり、全回答数の約 8%を占めている。

6. 安全・安心のまちづくりの推進について

満足度が最も高いのが「充実した介護サービス施設」であり、次いで「安心して受けられる医療体制」と続いた。満足度が最も低かったのは「高齢者等の外出支援」であった。重要度で最も高いのが「安心して受けられる医療体制」であり、次いで「充実した介護サービス施設」「地震や洪水等の防災対策」と続いた。

満足度に関する8つの質問で「分からない」と回答した合計値は62であり、全回答数の約6%を占めている。

〈人にやさしいまちづくりの総括〉

“人にやさしいまちづくり”に関する全37の質問事項の評価を4つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を13ページに掲載

I 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- ・町民と町との話し合いの場
- ・健全な町の財政運営
- ・保育所・こども園と小学校との連携
- ・子どもの学力の向上

II 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- ・町民と町との信頼関係
- ・良好な町職員の対応
- ・充実している子育て環境
- ・安心して受けられる医療機関
- ・地震や洪水等への防災対策 ほか

III 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要性に応じた推進・見直しの検討

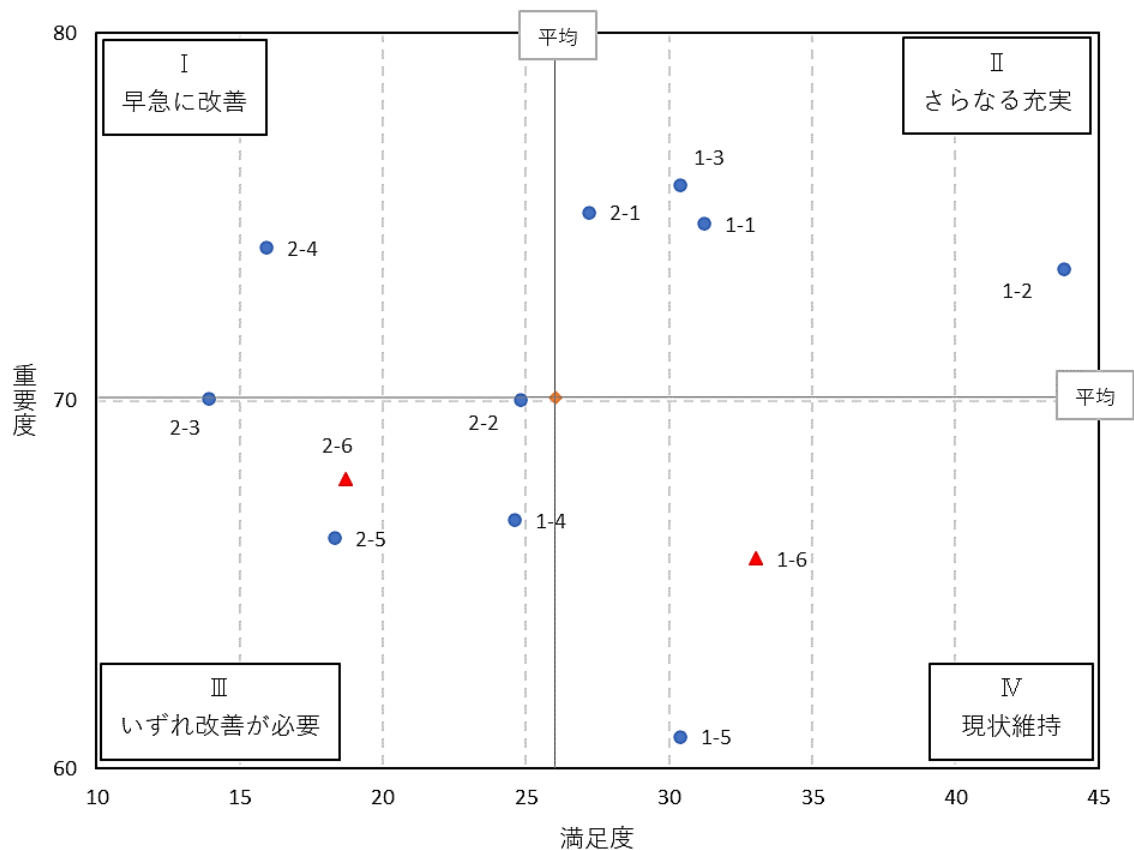
- ・町ホームページの充実度
- ・地域に開かれた学校経営
- ・まちづくりの担い手やリーダーの育成
- ・若者や女性の地域活動 ほか

IV 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率を検討

- ・集落や地域における活発なまちづくり活動
- ・集落や地域での健康体力づくり
- ・適切な小学校の再編
- ・生涯現役生活を目指した健康づくり

B 食にやさしいまちづくり

食にやさしいまちづくり			満足度						重要度							
			そう 思う	やや そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点	重 要 で あ る	やや 重 要 で あ る	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点
農 林 業 の 振 興 に つ い て	1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	6	33	35	21	32	0	31.228	68	35	4	1	16	3	74.815
	1-2	適正な水路や農道の管理・整備	5	58	33	9	20	2	43.800	55	51	4	2	11	4	73.569
	1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	5	27	47	17	31	0	30.394	70	33	6	3	12	3	75.879
	1-4	適正な鳥獣害対策	2	20	48	27	30	0	24.598	49	44	13	2	16	3	66.750
	1-5	適正な森林の管理や整備	7	29	36	21	33	1	30.405	40	48	10	5	21	3	60.855
	1-6	全体的な農林業の振興	7	31	42	16	30	1	33.040	46	50	6	4	18	3	65.710
商 工 業 の 振 興 に つ い て	2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	3	25	44	23	31	1	27.198	59	49	4	0	12	3	75.121
	2-2	良好な農業と商工業の連携	3	20	45	23	35	1	24.802	47	56	7	3	11	3	70.024
	2-3	良好な企業誘致にむけた取組	2	5	37	46	36	1	13.937	56	42	4	5	15	5	70.049
	2-4	良好な商店街の活性化	0	9	43	57	18	0	15.921	57	48	4	2	11	5	74.164
	2-5	充実した企業への支援	2	15	34	26	50	0	18.323	44	54	6	0	20	3	66.258
	2-6	全体的な商工業の振興	2	13	39	35	37	1	18.714	48	52	6	1	18	2	67.856



1. 農林業の振興について

満足度が最も高いのが「水路や農道の適正な管理・整備」であり、最も低かったのが「適正な鳥獣対策」であった。

重要度では「農業後継者・担い手の育成支援」が最も高く、次に「農業経営の安定・農家所得の増加」「水路や農道の適正な管理・整備」の順で続いた。

満足度に関する6つの質問で「分からない」と回答した合計値は176であり、全回答数の約23%を占めている。

2. 商工業の振興について

満足度が最も高いのが「特産品の開発・普及」であり、次いで「農業と商工業との良好な連携」であった。一方、最も低かったのが「企業誘致にむけた取組み」であり、アンケートの全項目の中で二番目に低い数値となった。「商店街の活性化」および「充実した企業への支援」についても低い数値がみられた。

重要度では「特産品の開発・普及」が最も高く、次いで「商店街の活性化」であった。

満足度に関する6つの質問で「分からない」と回答した合計値は207であり、全回答数の約27%を占めている。

〈食にやさしいまちづくりの総括〉

“食にやさしいまちづくり”に関する全12の質問事項の評価を4つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を13ページに掲載

I 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- ・良好な商店街の活性化

II 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- ・農業経営の安定、農家所得の増加
- ・水路や農道の適正な管理、整備
- ・農業後継者、担い手の育成支援
- ・特産品の開発・普及

III 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要性に応じた推進・見直しの検討

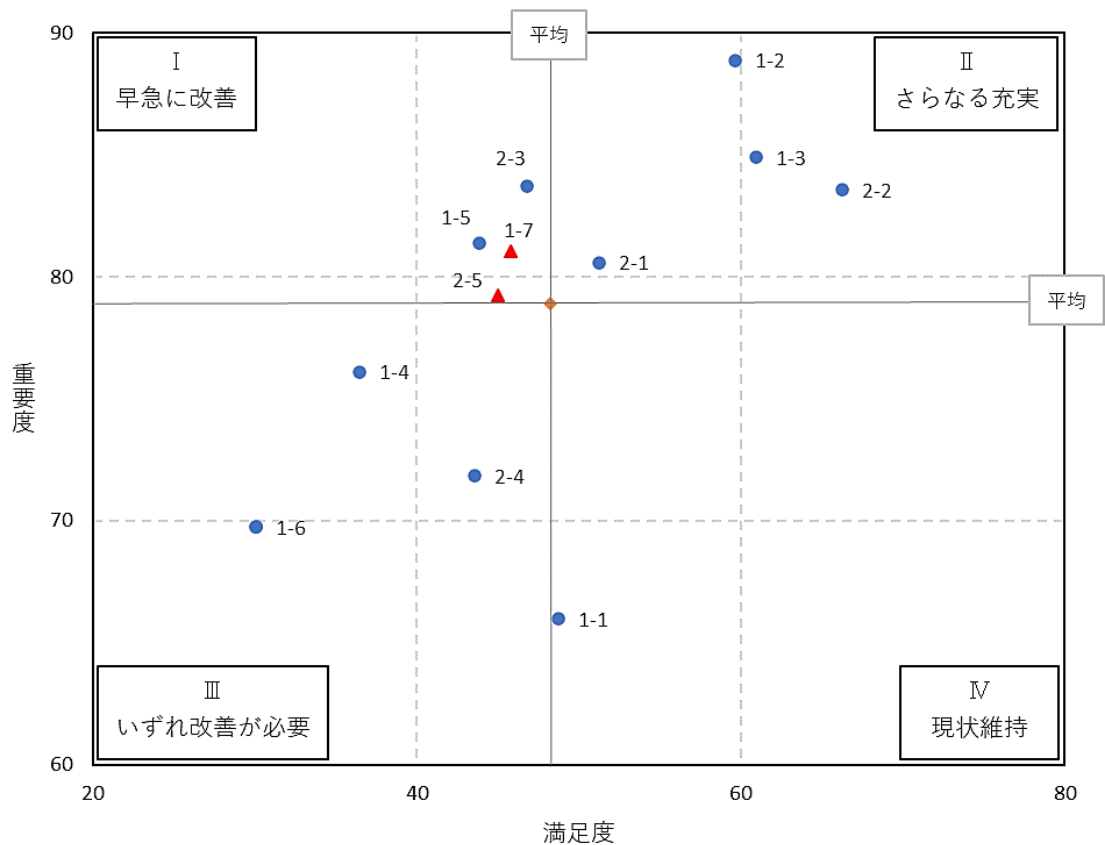
- ・適正な鳥獣対策
- ・農業と商工業の連携
- ・企業への充実した支援
- ・企業誘致にむけた取組み

IV 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率を検討

- ・適正な森林の管理、整備

C 環境にやさしいまちづくり

環境にやさしいまちづくり			満足度							重要度						
			そう 思う	やや そう 思う	あまり 思わ ない	思わ ない	分 か ら な い	無 回 答	得 点	重 要 で あ る	やや 重 要 で あ る	あまり 重 要 で な い	重 要 で な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点
生活 基盤 の 整 備 に つ い て	1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備	14	56	30	16	10	1	48.746	38	58	17	5	7	2	65.976
	1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	28	59	25	11	4	0	59.669	89	33	0	0	3	2	88.888
	1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行	36	52	20	11	8	0	60.976	82	35	2	1	5	2	84.888
	1-4	河川整備の適切な遂行	4	42	43	21	17	0	36.480	64	44	5	2	10	2	76.104
	1-5	町道の適正管理	9	50	36	20	9	3	43.855	68	44	3	1	5	6	81.380
	1-6	道路整備の適切な遂行	3	28	48	20	26	2	30.080	54	44	7	4	14	4	69.748
	1-7	全体的な生活基盤整備	11	52	36	16	11	1	45.810	77	36	3	1	9	1	81.040
生活 環 境 の 整 備 に つ い て	2-1	適切なごみ減量化対策	17	56	32	13	9	0	51.244	70	41	5	0	7	4	80.585
	2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策	26	79	16	5	1	0	66.307	76	40	5	0	4	2	83.560
	2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行	17	40	46	12	11	1	46.810	74	42	5	0	3	3	83.702
	2-4	再生可能エネルギーの適切な活用	15	45	31	7	29	0	43.606	56	48	5	1	15	2	71.848
	2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進	13	50	31	11	21	1	45.024	70	43	3	0	10	1	79.206



1. 生活基盤の整備について

満足度が最も高いのが「水道・下水道の安定供給」であり、次いで「適正な除雪や排雪処理」「町営住宅や若者定住住宅の整備」と続いた。最も低かったのが「適切な道路整備」であり、次に「適切な河川整備」と続いた。

重要度では「適正な除雪や排雪処理」が最も高く、次に「水道・下水道の安定供給」「町道の適正管理」と続いた。

満足度に関する 7 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 85 であり、全回答数の約 10%を占めている。

2. 生活環境の整備について

満足度が最も高いのが「ゴミ分別やリサイクル対策」であり、次いで「ゴミ減量化対策」であった。一方、最も低かったのが「再生可能エネルギーの活用」であった。

重要度では「不法投棄やポイ捨て対策」「ゴミ分別やリサイクル対策」が、ほぼ同率で高い数値となった。

満足度に関する 5 つの質問で「分からない」と回答した合計値は 71 であり、全回答数の約 11%を占めている。

〈環境にやさしいまちづくりの総括〉

“環境にやさしいまちづくり”に関する全 12 の質問事項の評価を 4 つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を 13 ページに掲載

I 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- ・町道の適正管理
- ・不法投棄やポイ捨て対策の遂行

II 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- ・適正な除雪や排雪処理
- ・水道・下水道の安定供給
- ・ゴミ減量化対策
- ・ゴミ分別やリサイクル対策

III 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要性に応じた推進・見直しの検討

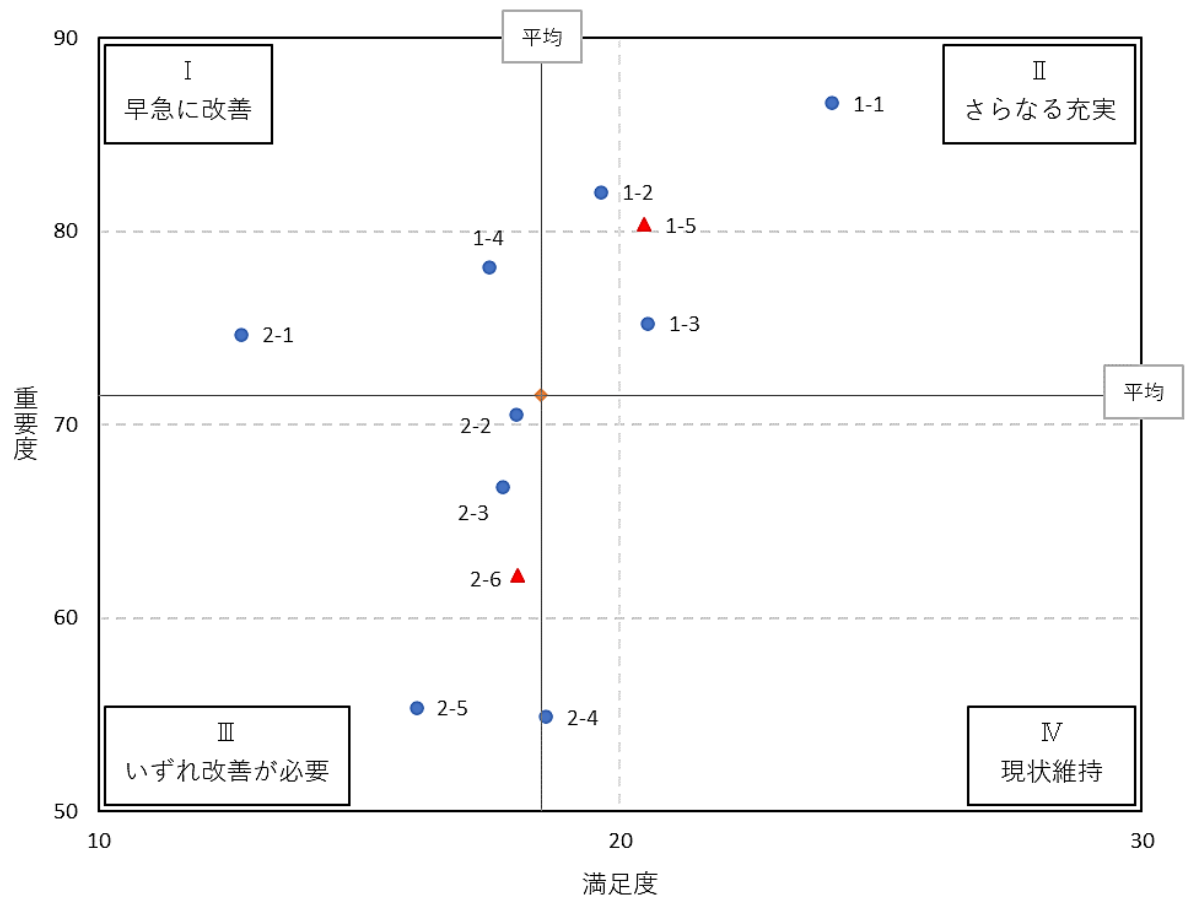
- ・適切な河川整備
- ・適切な道路整備
- ・再生可能エネルギーの活用

IV 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率を検討

- ・町営住宅や若者定住住宅等の整備

D 持続から発展のまちづくり

持続から発展のまちづくり			満足度						重要度							
			そう 思う	やや そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点	重 要 で あ る	や や 重 要 で あ る	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い	分 か ら な い	無 回 答	得 点
若 者 定 住 促 進 に つ いて	1-1	良好な雇用環境	0	19	54	39	15	0	24.055	92	23	0	2	7	3	86.621
	1-2	良好な若者定住やUターン対策	1	13	45	43	23	2	19.648	81	28	1	3	9	5	82.041
	1-3	良好な空き家対策	1	13	49	45	18	1	20.540	55	50	10	0	7	5	75.246
	1-4	良好な婚活支援	0	9	48	41	27	2	17.496	67	41	5	1	9	4	78.146
	1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進	0	17	43	41	24	2	20.464	74	38	3	1	9	2	80.360
観 光 業 の 振 興 に つ い て 及 び 交 流	2-1	旅館等への宿泊利用者の増加	0	2	45	53	27	0	12.748	54	55	3	0	11	4	74.667
	2-2	活発な観光イベントの実施	0	10	49	48	20	0	18.008	50	52	8	2	12	3	70.548
	2-3	良好な農家と観光業の連携	0	12	44	45	26	0	17.764	45	52	9	1	17	3	66.782
	2-4	良好な国際交流の実践	2	15	35	34	41	0	18.583	25	53	23	3	20	3	54.919
	2-5	百万人交流にむけた着実性	0	15	31	41	39	1	16.095	27	53	17	4	22	4	55.382
	2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	3	11	38	43	32	0	18.039	35	58	8	4	18	4	62.195



1. 雇用環境の整備・若者定住促進について

満足度が最も高いのが「良好な雇用環境」であり、次いで「良好な空き家対策」「若者定住やUターン対策」と続いた。しかしながら、全体として満足度の得点が25点を下回る低い結果となっており、最も満足度が低かった「良好な婚活支援」は、17点であった。

重要度では「良好な雇用環境」が最も高く、次いで「若者定住やUターン対策」と続いた。

満足度に関する5つの質問で「分からない」と回答した合計値は107であり、全回答数の約17%を占めている。

2. 観光業の振興・交流促進について

満足度に関し、「活発な観光イベント」「国際交流」がほぼ同率で高い数値となった。しかしながら、全体として満足度の得点がいずれも20点を下回る低い結果となった。最も満足度が低かった「宿泊利用者の増加」は12点であり、アンケートの全項目の中で最も低い数値となった。

重要度では「宿泊利用者の増加」が最も高く、次いで「活発な観光イベント」の順に続いた。

満足度に関する6つの質問で「分からない」と回答した合計値は185であり、全回答数の約24%を占めている。

〈持続から発展のまちづくりの総括〉

“持続から発展のまちづくり”に関する全11の質問事項の評価を4つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。※詳細を13ページに掲載

I 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- ・良好な婚活支援
- ・宿泊利用者の増加

II 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- ・良好な雇用環境
- ・若者定住やUターン対策
- ・良好な空き家対策

III 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要性に応じた推進・見直しの検討

- ・活発な観光イベント
- ・農家と観光業との良好な連携
- ・百万人交流にむけた着実性

IV 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率を検討

- ・国際交流

●評価区分

人にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
1-3	町民と町との話し合いの場	I	最重要課題
1-8	健全な町の財政運営		
2-3	保育所・こども園と小学校との連携 ※		
3-2	子どもの学力の向上		
1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係 ※	II	重要課題
1-4	良好な町の職員の対応		
1-5	広報もがみの充実度		
1-7	防災無線による情報提供		
1-9	町民と行政との全体的な信頼関係		
2-1	子どもが健やかに育つための地域環境		
2-2	充実している子育て環境		
2-4	子育て環境の全体的な充実度		
6-1	安心して受けられる医療機関		
6-2	充実した介護サービス施設		
6-3	充実した健康や介護に関する相談体制		
6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動 ※		
6-6	充実した地震や洪水等への防災対策		
6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり		
6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進		
1-6	町ホームページの充実度	III	要検討
3-3	地域に開かれた学校経営		
3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育		
3-5	学校教育の全体的な充実度		
4-1	充実した公民館の学級・講座		
4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス		
4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成		
4-4	活発な若者や女性の地域活動		
4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント		
4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承		
4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興		
5-3	活発なスポーツ活動		
5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進		
6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）※		
1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	IV	現状維持
3-1	適切な小学校の再編（統廃合）		
5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり		
5-2	集落や地域での健康体力づくり		

（注）※のある施策項目については、それぞれ「満足度」「重要度」において平均値に近かったことにより、明確な分布判断が難しい状況である。

食にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
2-4	良好な商店街の活性化	I	最重要課題
1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	II	重要課題
1-2	適正な水路や農道の管理・整備		
1-3	農業後継者・担い手の育成・支援		
2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組		
1-4	適正な鳥獣害対策	III	要検討
2-2	良好な農業と商工業の連携 ※		
2-3	良好な企業誘致にむけた取組 ※		
2-5	充実した企業への支援		
2-6	全体的な商工業の振興		
1-5	適正な森林の管理や整備	IV	現状維持
1-6	全体的な農林業の振興		

環境にやさしいまちづくり

番号	項目	分布	
1-5	町道の適正管理	I	最重要課題
1-7	全体的な生活基盤整備		
2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行		
2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進※		
1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	II	重要課題
1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行		
2-1	適切なごみ減量化対策		
2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策		
1-4	河川整備の適切な遂行	III	要検討
1-6	道路整備の適切な遂行		
2-4	再生可能エネルギーの適切な活用		
1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備 ※	IV	現状維持

持続から発展のまちづくり

番号	項目	分布	
1-4	良好な婚活支援	I	最重要課題
2-1	旅館等への宿泊利用者の増加		
1-1	良好な雇用環境	II	重要課題
1-2	良好な若者定住やUターン対策		
1-3	良好な空き家対策		
1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進		
2-2	活発な観光イベントの実施	III	要検討
2-3	良好な農家と観光業の連携		
2-5	百万人交流にむけた着実性		
2-6	良好な観光業の振興及び交流促進		
2-4	良好な国際交流の実践 ※	IV	現状維持

●満足度と重要度のランキング

満足度			低
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加	12.748	
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組	13.937	
B-2-4	良好な商店街の活性化	15.921	
D-2-5	百万人交流にむけた着実性	16.095	
D-1-4	良好な婚活支援	17.496	
D-2-3	良好な農家と観光業の連携	17.764	
D-2-2	活発な観光イベントの実施	18.008	
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	18.039	
B-2-5	充実した企業への支援	18.323	
D-2-4	良好な国際交流の実践	18.583	
B-2-6	全体的な商工業の振興	18.714	
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策	19.648	
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進	20.464	
D-1-3	良好な空き家対策	20.540	
D-1-1	良好な雇用環境	24.055	
B-1-4	適正な鳥獣害対策	24.598	
B-2-2	良好な農業と商工業の連携	24.802	
A-3-2	子どもの学力の向上	24.911	
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	25.122	
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動	25.431	
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	27.198	
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	28.385	
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	29.553	
A-5-3	活発なスポーツ活動	29.819	
C-1-6	道路整備の適切な遂行	30.080	
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	30.394	
B-1-5	適正な森林の管理や整備	30.405	
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	31.228	
A-1-6	町ホームページの充実度	31.740	
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	32.187	
B-1-6	全体的な農林業の振興	33.040	
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	33.328	
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	33.602	
A-1-3	町民と町との話し合いの場	34.629	
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	34.850	
A-4-1	充実した公民館の学級・講座	35.508	

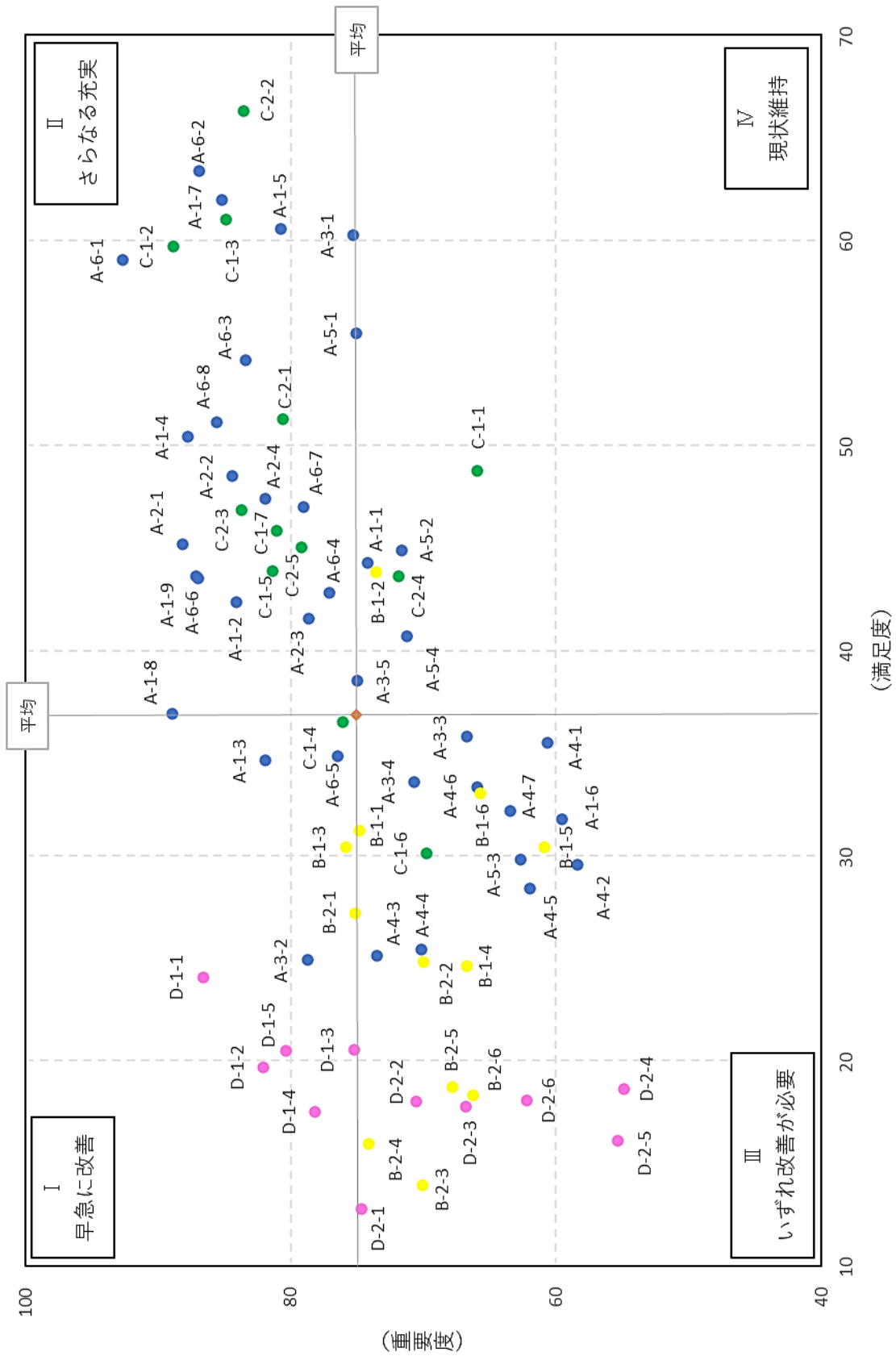
- 14 -

《重要度（高→低）》

重要度			
A-6-1	安心して受けられる医療機関	92.672	高 ↓ 低
A-1-8	健全な町の財政運営	88.915	
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行	88.888	
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境	88.125	
A-1-4	良好な町の職員の対応	87.756	
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係	87.147	
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策	86.959	
A-6-2	充実した介護サービス施設	86.919	
D-1-1	良好な雇用環境	86.621	
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進	85.573	
A-1-7	防災無線による情報提供	85.198	
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行	84.888	
A-2-2	充実している子育て環境	84.378	
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	84.118	
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行	83.702	
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策	83.560	
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制	83.427	
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策	82.041	
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度	81.947	
A-1-3	町民と町との話し合いの場	81.916	
C-1-5	町道の適正管理	81.380	
C-1-7	全体的な生活基盤整備	81.040	
A-1-5	広報もがみの充実度	80.790	
C-2-1	適切なごみ減量化対策	80.585	
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進	80.360	
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進	79.206	
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり	79.074	
A-3-2	子どもの学力の向上	78.765	
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携	78.627	
D-1-4	良好な婚活支援	78.146	
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動	77.098	
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）	76.476	
C-1-4	河川整備の適切な遂行	76.104	
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援	75.879	
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）	75.299	
D-1-3	良好な空き家対策	75.246	

重要度			
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組	75.121	↓ 低
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり	75.064	
A-3-5	学校教育の全体的な充実度	74.949	
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加	74.815	
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加	74.667	
A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり	74.197	
B-2-4	良好な商店街の活性化	74.164	
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備	73.569	
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成	73.496	
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用	71.848	
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり	71.653	
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進	71.248	
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育	70.703	
D-2-2	活発な観光イベントの実施	70.548	
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動	70.176	
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組	70.049	
B-2-2	良好な農業と商工業の連携	70.024	
C-1-6	道路整備の適切な遂行	69.748	
B-2-6	全体的な商工業の振興	67.856	
D-2-3	良好な農家と観光業の連携	66.782	
A-3-3	地域に開かれた学校経営	66.763	
B-1-4	適正な鳥獣害対策	66.750	
B-2-5	充実した企業への支援	66.258	
C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備	65.976	
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承	65.975	
B-1-6	全体的な農林業の振興	65.710	
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興	63.492	
A-5-3	活発なスポーツ活動	62.713	
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進	62.195	
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント	61.974	
B-1-5	適正な森林の管理や整備	60.855	
A-4-1	充実した公民館の学級・講座	60.655	
A-1-6	町ホームページの充実度	59.542	
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス	58.387	
D-2-5	百万人交流にむけた着実性	55.382	
D-2-4	良好な国際交流の実践	54.919	

●施策に関する満足度と重要度についての総括グラフ



人にやさしいまちづくり

A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係
A-1-3	町民と町との話し合いの場
A-1-4	良好な町の職員の対応
A-1-5	広報もがみの充実度
A-1-6	町ホームページの充実度
A-1-7	防災無線による情報提供
A-1-8	健全な町の財政運営
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境
A-2-2	充実している子育て環境
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合）
A-3-2	子どもの学力の向上
A-3-3	地域に開かれた学校経営
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育
A-3-5	学校教育の全体的な充実度
A-4-1	充実した公民館の学級・講座
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり
A-5-3	活発なスポーツ活動
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進
A-6-1	安心して受けられる医療機関
A-6-2	充実した介護サービス施設
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進

食にやさしいまちづくり

B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備
B-1-3	農業後継者・担い手の育成・支援
B-1-4	適正な鳥獣害対策
B-1-5	適正な森林の管理や整備
B-1-6	全体的な農林業の振興
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組
B-2-2	良好な農業と商工業の連携
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組
B-2-4	良好な商店街の活性化
B-2-5	充実した企業への支援
B-2-6	全体的な商工業の振興

環境にやさしいまちづくり

C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行
C-1-4	河川整備の適切な遂行
C-1-5	町道の適正管理
C-1-6	道路整備の適切な遂行
C-1-7	全体的な生活基盤整備
C-2-1	適切なごみ減量化対策
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進

持続から発展のまちづくり

D-1-1	良好な雇用環境
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策
D-1-3	良好な空き家対策
D-1-4	良好な婚活支援
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加
D-2-2	活発な観光イベントの実施
D-2-3	良好な農家と観光業の連携
D-2-4	良好な国際交流の実践
D-2-5	百万人交流にむけた着実性
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進

《総括》

“人にやさしいまちづくり” “食にやさしいまちづくり” “環境にやさしいまちづくり” “持続から発展まちづくり” の4項目に関する全72の質問事項の評価を1つのグラフにまとめ、平均点を基準に4つに分類すると、概ね以下のとおりとなった。

I 最重要課題（満足度は低いが重要度が高い施策）※緊急に取り組むべき課題

- ・町民と町との話し合いの場
- ・子どもの学力の向上
- ・充実した高齢者等の外出支援
- ・農業後継者・担い手の育成・支援
- ・適切な河川整備
- ・良好な雇用環境
- ・良好な若者定住やUターン対策 ほか

II 重要課題（満足度と重要度が共に高い施策）※さらに充実して解決すべき課題

- ・良好な町民と町との信頼・協働関係
- ・広報もがみの充実度
- ・防災無線による情報提供
- ・充実している子育て環境
- ・充実した介護サービス施設
- ・地震や洪水等への防災対策
- ・安心して受けられる医療機関 ほか

III 要検討（満足度と重要度が共に低い施策）※必要に応じ推進・見直しの検討

- ・町ホームページの充実度
- ・まちに誇りと愛着をもつための教育
- ・活発なスポーツ活動
- ・適切な道路整備
- ・良好な企業誘致にむけた取組
- ・百万人交流
- ・国際交流 ほか

IV 現状維持（満足度は高いが重要度が低い施策）※施策の効果・効率の検討

- ・活発な集落や地域におけるまちづくり
- ・集落や地域での健康体力づくり
- ・適正な水路や農道の管理・整備
- ・町営住宅や若者定住住宅等の整備
- ・再生可能エネルギーの活用 ほか

●満足度・重要度に関する総括評価区分

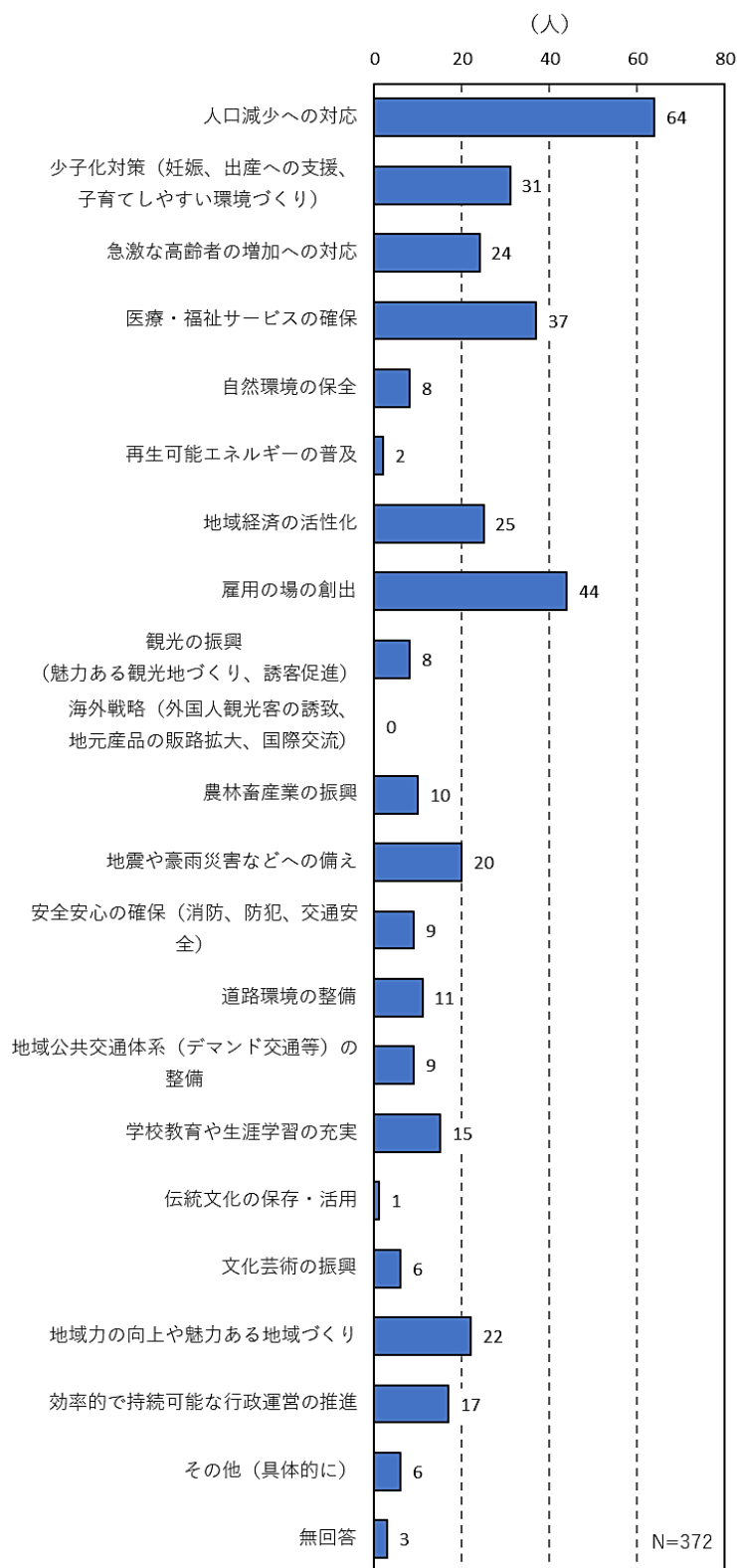
番号	項目	分布	
A-1-3	町民と町との話し合いの場	I	最重要課題
A-3-2	子どもの学力の向上		
A-6-5	充実した高齢者等の外出支援（移動手段等）		
B-1-3	農業後継者・担い手の育成、支援		
B-2-1	良好な特産品の開発・普及にむけた取組 ※		
C-1-4	河川整備の適切な遂行		
D-1-1	良好な雇用環境		
D-1-2	良好な若者定住やUターン対策		
D-1-3	良好な空き家対策 ※		
D-1-4	良好な婚活支援		
D-1-5	全体的な雇用環境整備や若者定住促進		
A-1-2	良好な町民と町との信頼・協働関係	II	重要課題
A-1-4	良好な町の職員の対応		
A-1-5	広報もがみの充実度		
A-1-7	防災無線による情報提供		
A-1-8	健全な町の財政運営 ※		
A-1-9	町民と行政との全体的な信頼関係		
A-2-1	子どもが健やかに育つための地域環境		
A-2-2	充実している子育て環境		
A-2-3	保育所・こども園と小学校との連携		
A-2-4	子育て環境の全体的な充実度		
A-3-1	適切な小学校の再編（統廃合） ※		
A-5-1	生涯現役生活を目指した健康づくり ※		
A-6-1	安心して受けられる医療機関		
A-6-2	充実した介護サービス施設		
A-6-3	充実した健康や介護に関する相談体制		
A-6-4	充実した集落や高齢者への支え合い活動		
A-6-6	充実した地震や洪水等への防災対策		
A-6-7	交通安全対策等の安全なまちづくり		
A-6-8	安全・安心なまちづくりの全体的な推進		
C-1-2	除雪や排雪処理の適切な遂行		
C-1-3	水道や下水道の供給・処理の適切な遂行		
C-1-5	町道の適正管理		
C-1-7	全体的な生活基盤整備		
C-2-1	適切なごみ減量化対策		
C-2-2	適切なゴミ分別やリサイクル対策		
C-2-3	不法投棄やポイ捨て対策の遂行		
C-2-5	環境保全対策や低炭素社会の全体的な推進		

番号	項目	分布	
A-1-6	町ホームページの充実度	III	要検討
A-3-3	地域に開かれた学校経営		
A-3-4	まちに誇りと愛着をもつための教育		
A-4-1	充実した公民館の学級・講座		
A-4-2	中央公民館・すこやかプラザの図書サービス		
A-4-3	まちづくりの担い手やリーダーの育成		
A-4-4	活発な若者や女性の地域活動		
A-4-5	充実した文化芸術に関する催しやイベント		
A-4-6	良好な文化財や伝統行事等の保存・伝承		
A-4-7	全体的な生涯学習・芸能文化の振興		
A-5-3	活発なスポーツ活動		
B-1-1	農業経営の安定・農家所得の増加 ※		
B-1-4	適正な鳥獣害対策		
B-1-5	適正な森林の管理や整備		
B-1-6	全体的な農林業の振興		
B-2-2	良好な農業と商工業の連携		
B-2-3	良好な企業誘致にむけた取組		
B-2-4	良好な商店街の活性化		
B-2-5	充実した企業への支援		
B-2-6	全体的な商工業の振興		
C-1-6	道路整備の適切な遂行	IV	現状維持
D-2-1	旅館等への宿泊利用者の増加 ※		
D-2-2	活発な観光イベントの実施		
D-2-3	良好な農家と観光業の連携		
D-2-4	良好な国際交流の実践		
D-2-5	百万人交流にむけた着実性		
D-2-6	良好な観光業の振興及び交流促進		
A-1-1	活発な集落や地域におけるまちづくり		
A-3-5	学校教育の全体的な充実度 ※		
A-5-2	集落や地域での健康体力づくり		
A-5-4	全体的な健康づくり・生涯スポーツの推進		
B-1-2	適正な水路や農道の管理・整備		
C-1-1	町営住宅や若者定住住宅等の整備		
C-2-4	再生可能エネルギーの適切な活用		

（注）※のある施策項目については、それぞれ「満足度」「重要度」において平均値に近かったことにより、明確な分布判断が難しい状況である。

◆ 今後について

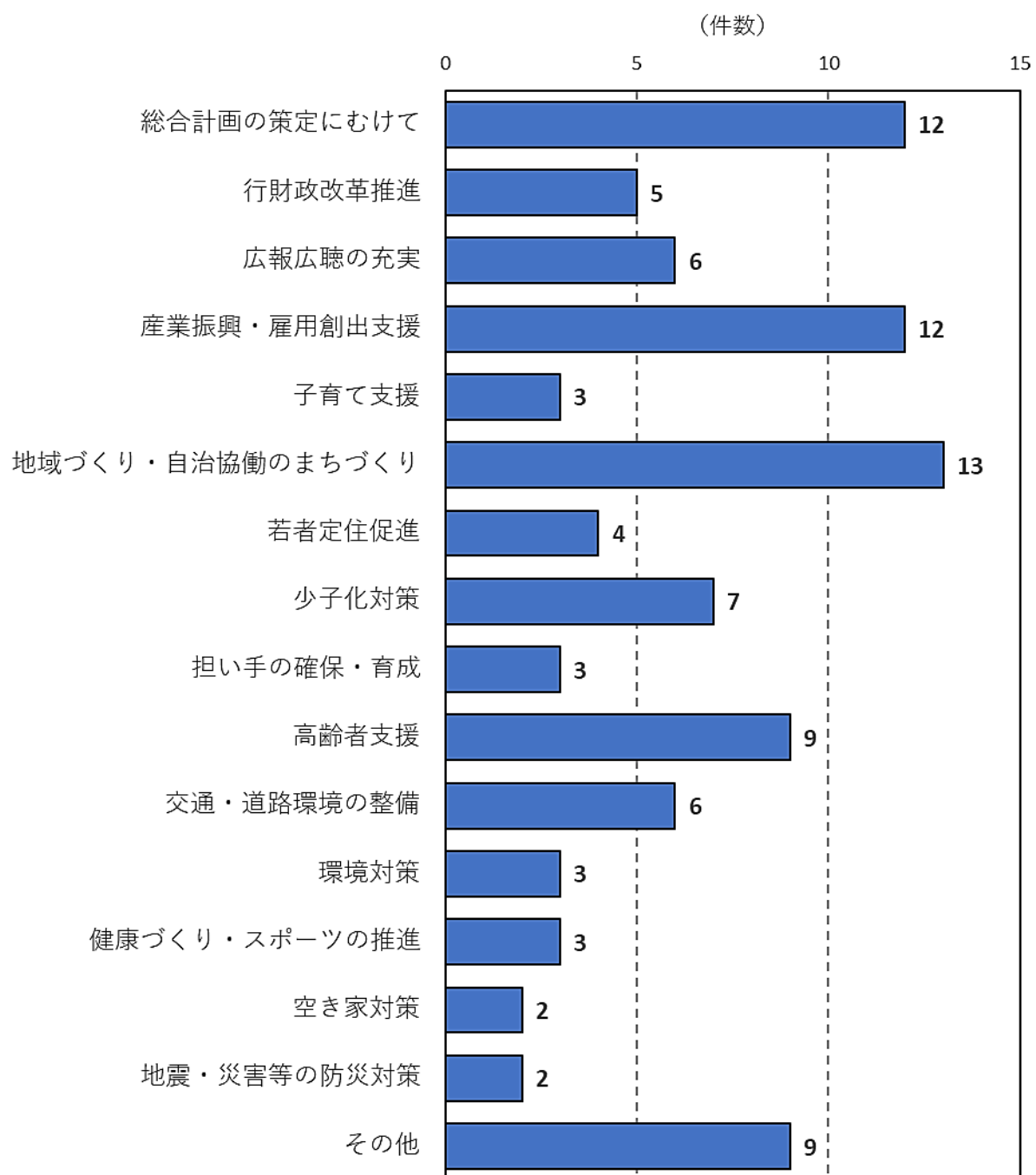
2. 今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？



今後、最上町で重点的に取り組むべき施策では、「人口減少への対応」が 17.2%と最も高く、次いで「雇用の場の創出」11.8%、「医療・福祉サービスの確保」9.9%、「少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）」8.3%、「地域経済の活性化」6.7%の順と続いた。

重点的に取り組むべき施策	回答数	構成比
人口減少への対応	64	17.2%
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	31	8.3%
急激な高齢者の増加への対応	24	6.5%
医療・福祉サービスの確保	37	9.9%
自然環境の保全	8	2.2%
再生可能エネルギーの普及	2	0.5%
地域経済の活性化	25	6.7%
雇用の場の創出	44	11.8%
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	8	2.2%
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0	0.0%
農林畜産業の振興	10	2.7%
地震や豪雨災害などへの備え	20	5.4%
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	9	2.4%
道路環境の整備	11	3.0%
地域公共交通体系（デマンド交通等）の整備	9	2.4%
学校教育や生涯学習の充実	15	4.0%
伝統文化の保存・活用	1	0.3%
文化芸術の振興	6	1.6%
地域力の向上や魅力ある地域づくり	22	5.9%
効率的で持続可能な行政運営の推進	17	4.6%
その他（具体的に）	6	1.6%
無回答	3	0.8%
合計	372	100.0%

15. その他の意見、自由記述欄



自由記載の意見内容を項目別にまとめたところ、記入実人数が70人に対して、99件もの意見が寄せられた。

2.あなたは今後、最上町がどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか？ (21.その他を選んだ方のみ)その理由
住民同士、訪れる人と住民「相互信頼関係の構築」に支えられたまちづくりの推進。
自然環境を守ること、特に河川や地下水の汚染は大丈夫でしょうか？ 上流での牛糞による地下へのしみ込みなどについては、しっかりとした対応がなされているのでしょうか？
各町内会では若者の考えをよく聞き、助けてやること。 年配の役員の方は、お辞めになったほうがよい。
集落内に結婚していない若者が多くいる。その対策をお願いしたい。
自給自足できるまちづくり。命優先のまちづくり。(いざという時に)
スポーツ活動の活発化。(誰でもどこでもいつでもスポーツ活動)

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

公民館長と区長をあえて兼務して10年「住民自治協働」の育ちを基盤に、まちづくりの地域生活課題を共有し、事業展開(住民参加)にあたっては、業種の垣根を飛び越えて、役割を担い力を合わせながら住民「相互信頼関係」構築があって実を結ぶものと受け止めている。

赤倉地区の基幹産業「農業・旅館」の衰退に伴い、宿主の多様化が進み、集落機能と地域コミュニティが年々低下しつつある。

赤倉の復活を目指すためにも、コミュニティの場や訪れる人との交流の場が求められている。

自治協働のまちづくりの基盤に必要な財産が薄れつつあり、住民が住んでよし、訪れる人にも「また来ます」と言われるまちづくりをしなければならない。

住民が仲がいい、共通の課題解決で話し合える異業種交流が盛ん等、まちづくり基盤に必要な財産が次世代へと受け継がれるまちづくりを。

ますます空き家が増えていく中で、住民が安全で安心して暮らせる環境づくりを今後ともよろしくお願いします。

今現在も将来も最上町に住んでいけるように安全安心はもちろん、環境問題にもきちんと取り組んだ、美しい町にして欲しいです。

子供に限らず大人たちにも環境問題はもちろんのこと、文化的なことも交流したり、勉強したり、教育が必要だと思います。

郡内の町村の中では、最も行政レベルが高いと感じています。

将来に向けて最も必要なことは、若者の定住であり、それには雇用の場が必要不可欠と考えています。

県道、町道の改良工事整備支援事業に進んでもらいたい。

空き家が年々増している。

解決の一步として町関連職員が率先して入居する体制を取り、採用条件に加えてはどうでしょう。

規模の大小はともあれ、町三役の方が大いにセールス活動を、企業誘致に努力してもらいたい。

まちづくりは試行錯誤だと思います。

町職員の数が多すぎるのではないかな？

町職員の対応が悪すぎる。安定した給与をもらっているのだからもう少し愛想よくしてほしい。

これまでにどんなまちづくりをしてきたのか分からないので、1年に1回くらいはまとめ、どんなことをやってきたのか町の広報などで知らせてほしい。

これからますます高齢化社会になると思うので、前にあった「みずかみ」のような多人数を受け入れられる「ショートステイ」が絶対に必要だと思うので考慮してほしい。

今、コロナで多人数の集会はしないように全国的になっているのに、公民館で飲み会をしている集落がある。(農地保全の草刈りのあとに)集会はまだやらないほうがいいと思う。

町全体で一致してほしい。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？ また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？
特色のあるまちづくりは、あれもこれもではなく、最上町でしかできないものを目指すべきではないでしょうか。
これまでは、町内の方に目が向けられてきたように思います。もっと町外へ情報を発信して関心を持ってもらうこと、働く場所を増やすために企業誘致に力を入れる事、そのための流通（交通）確保が必要だと思えます。
農産物で農家の方は収入を得ることができ、毎日苦勞をしながらもゆとりを持つことができていると思います。大変良かったことと思いますが後継者がいない事が悩みです。
第4次最上町総合計画の副題？～キラリ輝く田園空間博物館の創造～の実績がみえない。 具体的には何なのか理解できない。 また、最上町はほかの市町村と比較すると町外への情報発信が少ないように感じられる。 今回アンケートを記入してみて正直「わからない」ことが多く難しいという感想を持った。
これからは高齢者が安心して暮らせる町になって欲しいと思います。
誰もが安心して暮らせるまちづくりが必要だと思えます。
このようにアンケートを取っていますが、このアンケートの結果は誰が見て、何に役立っているのか？疑問です。 100万人交流や少子化対策等、目に見えていない若者の働く場所など、今の町長等は何も考えていないんじゃないかと思う。 もっともっと町民の生活に目を向けてほしい。
各役職者の会議や懇親会について様々なテーマで話し合いが行われていることはあるが、実践可能な事、前向きな意見が出てほとんど実践されない。 各管理職の方々の本気度が足りないようだ。 話し合いの場を設ける事、パフォーマンスをすることが目的ではないはずだが。
みんな気軽に健康体力づくりができる場があったらいいと思います。
子育てに関しては昔よりだいぶいいと思います。 高齢化社会についても色々考えていると思います。 デマンドは大変いいと思います。これから先を見通して考えていけたらと思います。 最上町には瀬見温泉、赤倉温泉がありますが、やはり環境整備が一番のように思います。 この度、花を植えていただき大変良かったと思います。 お客さんを迎え入れる観光協会などが呼び掛けてください。ボランティアで参加したいと思います。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

自分たちの集落は自分たちで守る。
行政は何もしてくれない様な受け止め方をしています。
集落づくりは自分から考え、実行し、チェック確認をし、改善させることを繰り返すことが重要と考えています。
行政はもっと集落に入って、生の声をもっと聞くべき。

現在の多種多様な厳しい状況下で、頑張っている町長はじめ町職員の皆様に感謝申し上げます。
まちづくりについては、これまで実行してきたことをコツコツと続けていく中で、新しいことが見えてきそうな気がします。

明るいまちづくりが大切だと思います。
まずは役場の対応に不満を感じているという声を多く聞きます。
挨拶ができていない。笑顔の対応ではなく、役場の窓口で何か嫌なことがあったかのような顔の表情で対応しているとのことで大変残念だな—と思っている方が多いようです。
まず基本は笑顔で挨拶だと思います。
職員と町民の信頼関係を築く上で大切だと思います。宜しくお願いします。

超高齢化社会は現実のこと。
行政からしてもらうのが当たり前ではなく、地域住民の一人ひとりが主体的に考えながら行動していくべき時代にあると思う。
その支援を今後ともよろしくお願いします。

誰もが住みたい町、住んでいてよかったと思える町について、幅広く意見交換ができればいいと思います。
絵にかいた餅ではなく、できることを積み上げていきたいです。
観光交流も大事ですが、よそからいらした方たちを大事にするばかりでなく、住んでいる人を大事にして欲しいです。
JRの存続、古川方面への接続がこれ以上不便にならないようにお願いしたいです。
リモート、テレワーク等で働けるのであれば、最上町で暮らしたい人も出てくると思います。
東京や仙台への交通手段がしっかり確保されていれば、定住者も増えるかと思っています。
鳴子駅までのバスなどがあれば、東京まで3時間ちょっとでいけます。
昨今のようなコロナ禍にあっては、最上町のようなところで暮らしながら働きたい人や、老後を送りたい人がいると思います。
都会との時間的距離を埋められれば、移住や里帰り希望も増えると思います。

よくできていると思います。持続から発展のまちづくりに力を入れていただけたらと思います。

町長さんはじめ、それぞれのお役の方々には、努力していると思います。
これからは、新しい考えも必要になってくると思われますので、いい意見を持っていると思う人の話を聞きながら、自分たちの町を意識し、町民全員が一つになって、進めていきたいものです。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

百万人交流のまちづくりを掲げて取り組んできたと思いますが、うまくいっているのか、何事もそうですが、目標を立てて、今はどの程度まで進んでいるのか、進行状況が我々町民には全く分からない。途中報告をすべきだと思います。

人口の減少、福祉の平行線、最上町内の経済の衰退、町財政の低下他・・・以上の改善努力が必要。まずは個々の皆様の努力が必要。

人口減少超高齢化社会は、全国的に避けられない社会現象であります。
それをどう止められるか。地域の資源を活かした事業を創出することで、雇用を生み出し、若者が定住し、結婚する機会が増えれば、必然的に諸問題が解決するものと思われます。行政トップが大所高所からの視点に立ってまちづくりを進めていただきたいと思います。

若者が定住したいと思っても職場がない。
企業が入ってこないもののでしょうか。
若者の子育てをするとき、教育の場が少なく考えてしまう。

町と町民との話し合いの場が、学区毎に行われているが、集まる人数が少ない。
これは、一般町民の話を、その場では聞くんが、本心から聞いてくれないし、特定の人の意見しか聞いてくれない様な感じがいつも受けます。
断る理由は、いつもお金がないで終わってしまう。
信頼関係がとても薄い気がします。
子供たちへの地域愛は良いと思うが、学力がないとバカだけが残ってしまう。
何もかもに取り組みなくとも、地域に根差した産業を伸ばし、そこから横への縦への展開をして所得向上を目指す。
その先、産業も広く展開していくのではないのでしょうか。しっかりとした町政運営をやって欲しいです。

高齢者から乳児までが安心して暮らせる最上町に！
安心して産み育てていける子育て環境の充実。（戸外で安心して遊べる公園の設置）
いきいきと老後が送れるよう老人対策の充実（買い物弱者への対応）
地震や災害時の備えの充実（避難所の整備、備蓄品の備えなど） よろしく願います。

厳しい町の現状を直視し、第5次総合計画が画餅に帰することのないようにしてください。

若い人、特に30代から50代は、会社関係、自分の家族のこと、生活上のお金のことでいっぱい生活しているのが現状です。
子供や高齢者を大切にする事も大事ですが、各集落に力強いリーダーを育て立ち上げるのが先だと思う。
役場職員は何を目指しているのでしょうか。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

様々なことに取り組んできたようですが、結果として残っているもの、いい方向に向かっているものがあるのか分からない。
福祉の町でありながら若者との共生があってもいいのではないか。(紅梅荘跡地を若者定住団地、1階は高齢者用、2階は若者用にするとか)
まちづくりのリーダーとなる行政職員、特に職員の意気込みがあまり感じられず残念。まちづくりと合わせて人を育てていただきたい。

このような基本構想があることを認識していなかった。
「キラリ輝く田園空間博物館」とは何を目指すのか。
そもそも博物館とはどういうものなのか。
また評価も難しいと感じた。
まちづくりの歩みに象徴されることは出来事であり、基本方針に従って具体的な数的根拠を示していただけるとよかった。
漠然とした概要を根拠に回答せざる得なかった。
人口減のスピードが「まち」の枠を壊していくことにつながらないのか不安。

まちづくりに関してはやや良いです。今後については少子化対策が一番と思われる。

最近、瀬見赤倉温泉の泊り客が少なくなっているように思われます。
活性化に取り組んではいかがでしょうか。
また、冬でもできる農業温泉熱を利用とか、バイオマス色々あると思います。

スローガンはいいが、具体的な対策が見えてこない。
人口減少、高齢化社会への対策は避けて通れないと思う。
それに対する予算とか具体的対策はどうか。
情報とか、予算とか持っている町当局が先頭にたって、町民を引っ張って行って欲しい面もある。
難しい時節柄ですが頑張ってください。

町の行政などまだまだ分からないこともたくさんあります。
私は、今、運転ができていますが、これから先、運転ができなくなったら交通の便が心配です。
レインボー号も今年の春から運行されていますが、お客さんの声はあまりよく聞かれていません。
道路環境の整備をよろしくお願いします。

全国の市町村が大体同じようなテーマで取り組まれています。
100万人交流については、来町者だけのカウントで、町外に出かける町民の数をカウントすれば達成したのでは？

雇用の場が少ないから若者定住は無理かと思う。
定住宅の前に、仕事場が最初だと思う。
デマンド交通については、私の地区周辺では町営バスのほうが利便性が良かった。まだまだ改良していただきたい。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

私は夢想家です。
そしてターシャ・テューダーが大好きです。
最上町は自然、農業、生活に必要なものすべてそろっていることを外に向けて発信。
若い女性が定住し、それをサポートできる体制を作ってほしい。
家、畑の確保、農作業の手順など、ターシャになりたい人がいっぱいいるはずと思いたい。

子供も年寄りも大事ですが、若い人たちが働ける仕事場をもっともっと増やしてください。
高校卒業して最上町を出て、そのまま最上町に戻ってこないのは大問題だと思います。

少子化による人口減少、若者が定住できる魅力あるまちづくり。

病院職員の対応が気になります(患者家族に対して)
人口減少が増えているとともに、若者の結婚減少を少なくしていかなければならない。
魅力あるまちづくりが必要になってくると思う。
何も無い最上町ではいけないと思う。

広範囲にわたる政策展開をされておりますが、厳しい財政状況やマンパワー不足等を考えると、本当に
今、町民に必要とされている施策を厳選して今後の計画作りをしてもらいたい。
新型コロナウイルスや想定を超えた豪雨など、これまでにない状況が出てきており「命を守る」ことにど
う対処すべきか。再考する時だと思っています。

以前から住民と町の話し合いは設けられていますが、住民から出されたアイデア等がどのようになった
のか、あまり解答がないように思われるので、良くも悪くも話し合いの後には報告が必要だと思う。

まちづくりで大事なことは、町民誰もが実行したことがわかる、理解できることではないでしょうか。
今回のアンケートから重点的に取り組む結果がでたら、それをどのように取り組んでいくのか具体的に
示していただきたい。
災害から町民の命と暮らしを守ることは町の重大な責務であることから、豪雨により被害が発生してか
らの対応策ではなく、危険箇所をリストアップし、事前に対策予防を取ってほしい。
高齢者の増加に伴う、年寄りの暮らしやすい仕組みの構築と町外への人口流出を避けるための子育て
・教育面での環境整備が重要である。
町行政には高齢者と子育て世代に対する支援のビジョンが求められる。
今後ますます空き家の増加が考えられます。
集落内での解決はなかなか難しいことがあります。積極的な指導をお願いします。

今まで続いてきたお祭りとか、そういうものは続けていって、この町の活性化につながる様にしていくと
いいと思います。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

町のリストラ、市町村合併が必要と思われます。
最上町の介護保険が高い。
独居や高齢者世帯になっても、除雪の心配がなく、安心して最上町に住み続けられる環境整備をお願いしたい。

家のない所で、山、道路や林の中に空き缶のポイ捨てがあります。
まちづくりで看板など、立てたらいかがでしょうか？(例)ポイ捨てダメ！ 空き缶捨てるな！

第4次総合計画は、基本構想を計画にもとづいて進められ、概ね順調に行われたと思う。
取り組めなかったことや、反省については、第5次に継続していく。
今後は人口を増やす更なる取り組みを願いたい。

まちづくりについて、すべてにおいて中途半端！欲ばかりが強く手を出しすぎ。
町議の本当の仕事は、何なのか。難しい言葉を並べても町民には響かない。税金の無駄遣い。
町長はほんと大変なくらいに頑張っています。

コロナ禍によって対面の会議などがなくなり、情報がほとんど入らなくなり、町で何かが起こり、何を進めているのか分からない状況。
せめて、町HPの更新を速めて欲しい。
ちなみに「公共施設の利用について」は、5月20日現在、「県の感染症状況」については7月15日、「コロナ対策」は7月7日現在である。
今後ますます人口減少が進むと思われるので、医療、介護、教育、交通、ショッピング・・・最低限の生活を確保する対策をお願いしたい。

独立した外部の「まちづくり評価専門会議」があるとよいと思います。
全てにおいて「透明性のあるまちづくり」を目指していただきたいと願っております。
防災無線が聞こえません。特に雨の時、自宅からはほとんど聞こえません。デジタル化前の対応もお願い致します。

これまで、協働のまちづくりに努めてきておりますが、時代と共に、若者の郷土に対する考え方も人それぞれとなってきました。地域を支える人材の育成が何といても重要と考えます。少子高齢化、人口減少が進む中、地域のみでの人材育成も難しくなりつつある状況にあります。町ぐるみでの取り組みを強く進める必要を感じています。

3.これまで最上町が進めてきたまちづくりについて、どのように受け止められておられますか？
また、今後、どのようなまちづくりを目指すべきとお考えですか？

医療、福祉サービスは地域のレベルに合わせて充実していて評価できる。今後も継続してほしい。
大企業や特色のある企業誘致は、地域経済の活性化、雇用の場の創出、若者定住、他地域との交流など、町の推進している事への基盤となるものと思う。具体的な取り組みが必要だと思う。
小学校や中学校のエアコン設置率のレベルが県内最下位であったことは残念。
何が本当に重要なのか、町民が何を一体望んでいるのか、再考していただき適切な財政運営をお願いしたい。
石巻酒田道路の早期実施は町に絶大な効果があると考えている。ぜひ強力に推進していただきたい。

全体的には、概ね良好のような気がしますが、人口減少と超高齢化の進行をいかに食い止めて、毎日安全に生活していける環境をみんなで作っていかねばいけないと思います。

他力本願な施策。公務員との地域活動の連携が絵空事。とにかく「人」づくりに努めていただきたい。

スポーツを、健康づくりに安易にくくりすぎではないか？
「スポーツ」による仲間づくり絆づくり、ひいては努力している子供、若者のスポーツ活動を通した生き生きした姿につながってくると思います。
中高年のスポーツ活動も同様です。ぜひ、計画の中で重要な位置づけをお願いします。(そのためには、町民のスポーツ活動の意思向上が必要)
町民のスポーツに対する思いを集約した計画づくりに生かしてほしい。

町の人口をいかに増やしていくかが最大の課題であると考えます。企業や大学、専門学校の誘致が必要と考えます。

農林、畜産業の振興と共に、観光の振興、さらに子供達が伸び伸びと遊べる場所の確保、観光の振興によって町が活性化するのは、と思われます。

高齢者に優しいまちづくり。除排雪や買い物などの支援。

とにかく最上町は色々なことに対して、取り組みが遅い。
②の①～④までの中で、一つでも良いから、必ずや実績が必要だと思います。
皆さんで考え、これからのまちづくりを頑張ってください。

